

平成 29 年度 施策評価表

施策	0402	地域間交流の推進	施策推進担当部	産業振興部
施策の方針	国内の姉妹都市や友好都市、さらには天正遣欧少年使節ゆかりの地などとの地域間交流を推進する。			

【DO（実施）】

基本計画における目標値

指標名	単位	基準値 (H26)	H28目標値	H29目標値	H30目標値	H31目標値	H32目標値	H28年度	
			H28実績値	H29実績値	H30実績値	H31実績値	H32実績値	達成率	進捗率
① 姉妹都市・友好交流都市との年間交流数	回	5	5 5	5	6	6	6	100.0%	83.3%
②									
③									
④									
⑤									

施策達成状況の説明

姉妹都市の秋田県仙北市と2回（仙北市物産展（大村市）、濱田謹吾少年銅像建立30周年記念事業（大村市））、伊丹市と1回（いたみ緑化フェア物産展（伊丹市））、友好交流都市の島根県飯南町と2回（夏越まつり（大村市）、青少年交流ツアー（飯南町））の交流を行い、目標回数実施した。

施策経費

(単位:千円)		H28年度 決算	H29年度 予算	H30年度 見込	特記事項
内訳	事業費	3,553	5,663	3,742	
	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	649	328	0	
	一般財源	2,904	5,335	3,742	
	人件費	9,787	6,497	-	
フルコスト	13,340	12,160	-		

施策の概要

040201	地域間交流の推進	他の地域の人々との交流を通じて相互の理解を深め、広域的振興を図るため、国内の姉妹都市である秋田県仙北市、兵庫県伊丹市のほか、友好交流都市である島根県飯南町、さらには天正遣欧少年使節ゆかりの地などとの多様な地域間交流活動を推進します。また、大村湾を活かした地域の活性化を推進するため、大村湾流域自治体5市5町等による連携と交流を推進します。

【CHECK (評価)】

施策を達成する上での問題点・課題	(姉妹都市交流事業) 姉妹都市である伊丹市の「伊丹市姉妹都市協会」が平成28年3月に解散したため、伊丹市との交流の機会が減少した。今後新たな交流の機会を創出し継続させる必要がある。 (大村湾を活かしたまちづくり自治体ネットワーク事業) 大村湾を活かした地域振興策及び民間レベルでの交流を図るため、5市5町が連携し、広域的な取組みを進めていくことが課題である。 (天正遣欧少年使節ゆかりの地交流事業) 国内交流事業の参加者が少ない傾向にある。
------------------	---

【ACTION (改善・改革)】

問題点・課題を踏まえた施策構成の改善・改革や新規事業についての考え方	(大村湾を活かしたまちづくり自治体ネットワーク事業) 大村湾流域自治体の人・物の交流を促進するため、各自治体の少年少女で組織するサッカー及び野球チームの交流大会を実施したが、今後は「大村湾を活かしたまちづくり自治体ネットワーク会議」の開催など、さらに自治体間の連携を高め、大村湾を活用した5市5町の地域資源に関する広域的な交流を図る。 (姉妹都市交流事業) 飯南町との交流拡大として、青少年交流事業の相互交流及び物産交流を進める。 飯南町との物産交流に合わせて、伊丹市との物産交流を協議・検討する。 戊辰戦争150年、濱田謹吾少年没後150年を契機とする事業を行う。(仙北市と姉妹都市提携を締結した背景の周知などを図るためのイベントを大村市内で開催する。)
------------------------------------	---

平成30年度新規事業

	事業名 (仮称)	担当課	H30年度見込	対象・事業概要など
			事業費	
1				
2				
3				
4				
5				
			0	

【評価調整委員会意見】

2	見直しが必要	
<<特記事項>> 施策の概要「地域間交流の推進」に関連する「姉妹都市交流事業」について、下記の意見を付す。 事業の実施を認めるが下記の条件を付す。 ・物産展については効率的・効果的に実施できるよう実施回数や時期などを精査すること。 ・仙北市で4月に開催される「角館の桜まつり」において大村の物産を販売できないか検討すること。		

【最終評価 (都市経営戦略会議)】

1	評価調整委員会意見のとおり	
<<特記事項>>		